

2016



公立大学法人

都留文科大学

市民公開講座

日本文学から世界文学へ

—夏目漱石と多和田葉子の

鉄道小説を読む—

夏目漱石没後100年にあたる2016年、都留文科大学はドイツより多和田葉子さんを特任教授としてお迎えしました。漱石はイギリス留学を契機に神経を病み、日本のあるべき姿について悩み抜いた近代の知的エリートでしたが、多和田さんは自ら2つの言語の間に身を置きながら、国家や国語という枠を越えて活躍し、現在最も注目されている「世界文学」の書き手の一人です。

この講座では、鉄道を題材にした二人の小説を楽しく読みながら、この100年間で私たちがどのように〈移動〉したのか考えてみたいと思います。

全3回

講師：野口哲也(本学国文学科・准教授)

専門分野：日本近代文学

研究テーマ：泉鏡花の作品研究、明治・大正期の小説についての研究

場所：2号館 受講料：無料 定員：100名

第一回

10月11日 火 18:20~19:50

「夏目漱石と多和田葉子の異郷体験」

第二回

10月18日 火 18:20~19:50

「夏目漱石の鉄道と富士山—『虞美人草』『三四郎』」

第三回

10月25日 火 18:20~19:50

「多和田葉子がやって来る

—『ゴットハルト鉄道』『容疑者の夜行列車』」

問合せ先
申込方法

① 大学ホームページの専用ページから申し込む。

② 下記の申込先に電話で申し込む。

※電話でのお申込みの際は、お名前、住所、連絡先、受講する回をお伝えください。

※10月10日(月)締切

都留文科大学 地域交流研究センター 地域交流研究センターサテライト

☎0554(43)4341(内線606) (まちづくり交流センター内)

電話対応時間は、平日9:00~16:30 ☎0554(43)1321

電話対応時間は、火~金9:00~16:30